



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2018~
2019年度
テーマ

国際ロータリー 「インスピレーションになろう」 R.I.会長 バリー・ラシン

地区方針 「ロータリーを信奉し、奉仕に行動しよう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 高山泰四郎

熊本グリーンRC 「手をつなごう、手をのばそう」

熊本グリーンRC会長 本田悟士



インスピレーションになろう

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：本田悟士 ■幹事：福島和見 ■会報担当：栗山義則
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2018年12月03日】

第1325回

2018-2019年度 第18回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

国歌「君が代」

熊本グリーンRCソング「友と語ろう」

来訪者紹介 (本田 悟士 会長)

・熊本RC

創立80周年実行委員長 目黒 純一 君

副会長 幸田亮一 君

・米山奨学生

シャルマ・ゴバル 君

友情の握手

会長スピーチ (本田 悟士 会長)

皆さんこんばんは。

本日はクラブフォーラム「創立30周年について」です。いよいよ、記念式典まで3ヵ月を切りました。これまで、実行委員長の河島会員の並々ならぬご尽力や、クラブ内での繰り返しの議論を踏まえて、プログラムの決定や他クラブへの案内・挨拶などが進められて参りましたが、記念講演をいただく大久保美喜子さんの奉仕事業に対する支援を含めて、決定していかなければならないことはまだあります。同事業については、私達のクラブ内でもなお明確には把握、理解できていないのではない

ないか（少なくとも、私はまだ、大久保美喜子さんの取り組みについて、これまでの実績や今後の展望について具体的なイメージが描けていないため、これについては、活動支援の決定等に先立ち、その資料を頂くなどして確認し、納得のうえ協力・支援していく必要があると考えています）と思われ、折角の30周年事業を熱意も納得も共有して進めていきたいと考えております。

先般の記念映画上映の際、参加された一般の方から、なぜ「グリーン」とついているのか？と尋ねられて答えることができませんでした。私の不勉強と言ってしまうかもしれませんが、記念事業についても、なぜこの事業にこれだけの支援をするのかと問われた際にきちんと説明できるだけの熱意や理解はみんなまで共有したいと思います。

皆様、本日のクラブフォーラムを含めて、引き続き熱心なご参加とご協力のほどよろしくお願い致します。

次に、先週書いた法律コラムについてですが、本日は証人尋問についてお話しします（本日が終日尋問に追われる1日だったからという安直な理由ですが）。

証人尋問ときいて皆さんがイメージされるのはどのようなものでしょうか。ドラマの1場面でしょうか。経験された方もいらっしゃるかもしれませんね。

この証人尋問は、裁判手続の中でいけば最後の場面で行われるものです。当事者の間で争いがあり、判決を下すのに判断する必要がある争点について、何があったのか何がなかったの

卓話予定

12/10 「クヌボール体操について」(実演あり) ひかり治療院 松本 祥子 氏

12/17 「年忘れ家族会」18:30~(於:ホテルキャッスル)

12/24 祝日の為、例会取り止め

12/31 定款第8条第1節に基づき、例会取り止め

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

かったのか、事実についてこれを証明する（立証）ための最後の手段として行うものです。立証については、紙の証拠（書証）があったり録音録画があったりするならばそういった出来る限り客観的な証拠によるのが理想なのですが、まあ実際には世の中なんでもかんでもそういった堅い証拠が残っているわけではありません。最後の最後では当事者や目撃者そういった人の

見聞き経験したその記憶を証拠として用いることとなります。

ただ、この人の記憶を用いる証拠、書証に対して人証というのですが、これは他の証拠と違い、人の認識、記憶、そしてそれを言葉に出して表現するという過程の全てにおいて、曖昧さや歪曲の危険をはらんでいます。そのため、相手方からの反対尋問を受けることでその人の認識、記憶、表現を吟味させて証拠としての価値をチェックする必要があり、尋問の手続がなされることとなります。

そのようなものですから特別な仕組み、制約がありまして、まず、宣誓させます（民訴201、民訴規則112）。その上で、何人が複数の証人の尋問が予定されているときには後から話を聞かれる証人については法廷に来させない在廷させない（民訴規則120）といったルールもあります。また、尋問の仕方についてもやってはならない、不適切な尋問方法が定められており（民訴規則115）、他方当事者から異議が出されたり、裁判所から制限されたりもします。

こういった法律、規則上の制約のほか、非常に人間らしい注意点？テクニック？もあり、大事な質問を裁判官のためにとっておくことも検討します。尋問は、申請した側からの主尋問、相手方側からの反対尋問、最後に、裁判官からの補充尋問がなされるのですが、裁判官は、自分が聞いた質問に対する答えに一番価値があると考えている（自分は必要な質問をする。自分には証人も本人も嘘をつかない。あるいは自分は騙されない。と思っているのではないかと・・・）ように感じられるので、あえて、大事な質問を裁判官のためにとっておいて、裁判官に質問して“もらう”ことも考える訳です。

私達は白を黒と言い含める仕事をしているわけではありませんが、裁判官も人の子ですので、できる限り美味しくこちらの出したものを食べて頂く必要がありますので、こんなことも考えながら、日々仕事に励んでいます。

とりとめなくなりましたが、弁護士という仕

事にもおいても、やはり、人間に対する深い洞察、理解が一番の武器になることをあらためて思いながら、一日尋問をして参りましたので、このような洞察、理解を深め、人格の陶冶にもつながる（はずの）ロータリーは素晴らしい！との賛辞で本日の会長の時間を締めくくらせて頂きます。

幹事報告（副島 和見 幹事）

■ 報告事項(その他のロータリー関係)

①「地区大会ご参加お礼」高山ガバナーより届いております。

②「熊本第3グループIM（インターシティーミーティング）」のご案内（開 克行ガバナー補佐より）

日時：平成31年2月22日（金）15:00～19:00

受付：14:30～15:00

IM：15:00～16:50

講演「ロータリーを語ろう」

第2770地区 中村靖一パストガバナー（吉川RC）

懇親会：17:00～19:00

場所：熊本ホテルキャッスル 地階「クリスタルホール」

会費：5,000円（懇親会費含む）

★各クラブ10名以上の参加をお願い致します。

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本西南RC】

①1月10日（木）の例会は、熊本市域RC新春合同例会のため、1月8日（木）12:30よりホテルキャッスルにて行います。

②1月17日（木）の例会は、新春家族例会の為、同日18:30よりANAクラウンプラザホテル熊本ニユースカイにて行います。

【熊本中央RC】

1月11日（金）の例会は、熊本市域RC新春合同例会のため、1月8日（木）12:30よりホテルキャッスルにて行います。

<取止め>

クラブ定款第8条第1節に基づき、取止めます。

【熊本西南RC】 12月27日（木）

【熊本西南RC】 1月3日（木）当日はサイン受付けは致しません。

【熊本中央RC】 12月28日（金）当日はサイン受付けは致しません。

【熊本中央RC】 1月4日（金）当日はサイン受付けは

熊本ロータリークラブ会長挨拶 本松 賢
30周年記念事業紹介 実行委員長
大久保美喜子氏に活動支援金贈呈 会長より 謝辞
点鐘 17:00

2、講演会

17:10

講師—大久保美喜子 「21世紀に生きるインド・ウォーランド通りの子ども達」

18:10 終了・・・地下から二階に移動 20 分間

3、祝賀会 18:30. 20:30 司会 福島幹事

*30年間をDVD で流す 4分 コマ8秒で約30枚+文字をテロップで流す

バック音楽未定

チャーターナイト・チャーターナイトメンバー・5周年・土井口会員・情報集

10周年・15周年・20周年・25周年・最後に現在のメンバーをテロップで流す

現在、河野会員に写真選択依頼

*アトラクション 福嶋由記 オペラ2 曲 10 分

*会長挨拶 3 分

*チャーターメンバーの表彰 代表者挨拶 10 分

*10年、20年、30年の無欠席の表彰 代表者挨拶 10 分

*再び、福嶋由記さんと男性テノールにより「乾杯」の歌で、乾杯

*開宴

アトラクション、軽音楽&ジャズ

*ロータリーソング 手に手つないで

*閉会の辞 会長エレクト

<誌発行 6月末に発行予定>

30年の記録、 現会員の原稿

当日配るパンフレット作成

12月上旬に原稿依頼

本田会長、実行委員長、ガバナー、熊本クラブ会長、大久保美喜子

12月下旬に原稿受取

1月8日、10日 印刷所に原稿渡し

1月末上梓

表紙

表紙裏、式次第

1ページ 会長挨拶 顔写真

2ページ ガバナー挨拶 顔写真

3ページ 熊本クラブ会長挨拶 顔写真

4ページ 実行委員長挨拶及び記念事業紹介 顔写真

5ページ 講演者の講演概略と略歴 顔写真とインドでの奉仕活動の写真

6ページ 物故者の名前

顔写真があるか、名前と亡くなられた年月日と享年だけでいいか？

表彰者 チャーターメンバー 名前 顔写真

伊津野良治・十時義七郎・栗山義則・仙波洋八・大友利行・志垣祥一郎、上田観一の7 名

無欠席者 10 年・20 年・30 年

7ページ アトラクション紹介 福嶋由記・・・軽音楽

8ページ 現会員名簿

名前、職業(会社名)、役職、職業分類、年齢(生年月日)、ロータリー歴、

9・10 ページ 出席者名簿

ロータリー別に記載し、名前の後にテーブル番号を入れる。

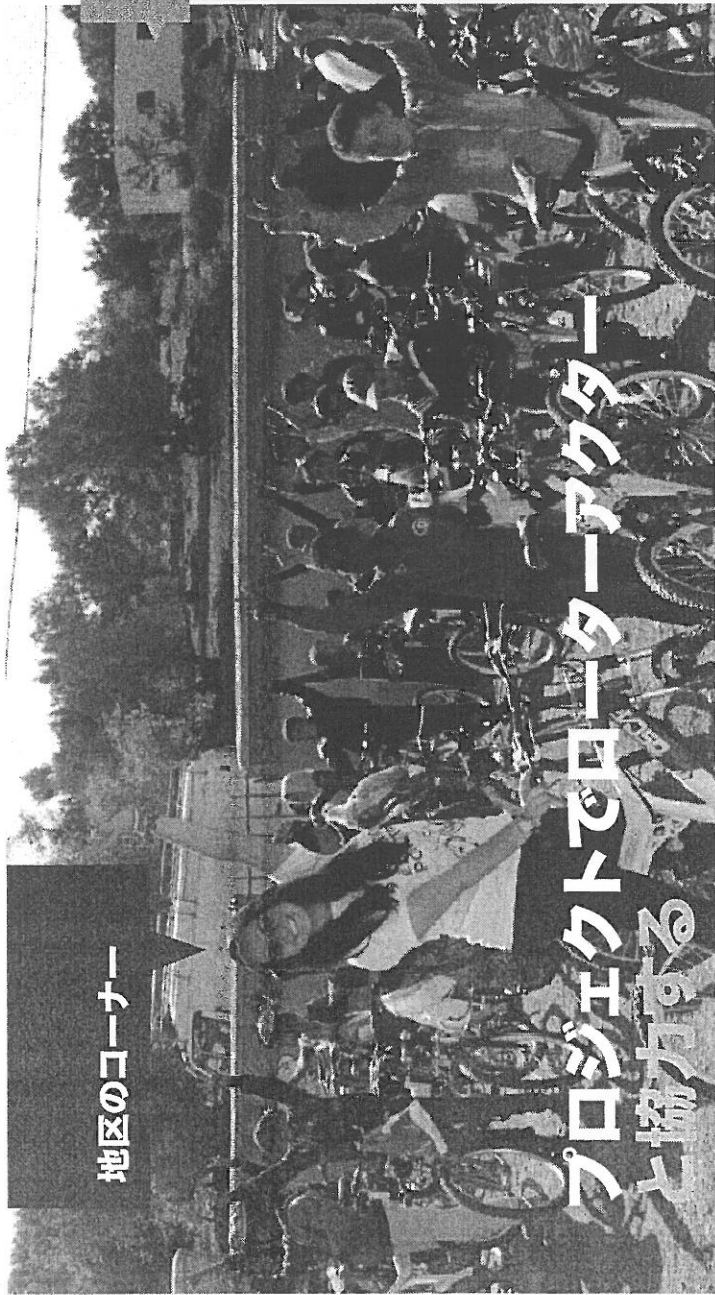
裏表紙 裏 ロータリーの歌

記念事業案

1、大久保美喜子のインドに幼稚園を造る事に対するの支援金

2、(新しくできる辛島公園に、池部長十郎、啓太親子の住居跡に碑文を建立)

地区のコーナー



プロジェクトでローターアクトと協力が進む

モロッコのヒホクワダス・ローターアクトクラブは、自転車を購入して生徒たちに提供するための資金調達活動が評価され、昨年「卓越したローターアクトプロジェクト賞」を受賞しました。

自転車の救急車 in マラウイ

● **もたらしたいいインパクトを検討する:**ローターには6つの重点分野があり、これに沿って活動することで持続的な変化をもたらすことができます。卓越したプロジェクトを生み出すには、もたらしたいインパクトを広い視野で検討し、重点分野に即した主要目標を立てることから始めましょう。グローバル補助金を申請する場合は、『重点分野の基本方針』を参考にし、プロジェクトの内容が財団の目標と一致していることを確認しましょう。

● **持続可能なプロジェクトにする:**ローターにとって「持続可能性」とは、補助金プロジェクトの終了後も、現地の人々が自力でニーズに取り組みめるよう支援し、長期的な解決策をもたらすことを意味しています。地域社会の連携や、住民参加の呼びかけ、研修の実施、機材や供給品の現地調達、地域的な資金調達の確保といった持続可能なプロジェクトの策定方法について、ローターアクトを支援しましょう。詳細は、重点分野ガイドをご覧ください。まずは地域調査を実施し、地域社会のニーズを把握することから始めましょう。

● **成功事例を記録・共有する:**プロジェクトの進捗や成果を記録し、紹介しましょう。MY ROTARYのアワードにあるグループに参加、あるいは新しいグループを立ち上げたり、アイデア広場サイトでプロジェクトへの支援を募ったり、ローターリーダーシップフォーラムでプロジェクトを紹介したりすることで、世界各地で変化をもたらすローターの活動を推進できます。

プロジェクトに参加しなければ、その国際性を肌で感じることはなかなかできない」と、トレドさんは言います。

ロータークラブの一員として、提唱しているロータークラブの委員に指導や支援を行い、共に活動してみよう。これがいリーダーシップ力の構築、国際理解の向上、地域社会への貢献へと繋がっていきます。

と、トレドさんは当時を振り返ります。「提唱クラブの会員には、『必要な人材や資材はすべて揃っており、あとは署名をするだけです』と呼びかけました」。

これに賛同してくれたのがヴァイヘルモサ・ロータークラブでした。このクラブは後別のグローバル補助金プロジェクトでトレドさんのローターアクトクラブと連携することになり、安全な飲料水を利用できない地元35の村に浄水施設を設置しました。

「グローバル補助金プロジェクトを通じて、ローターの底力を実感できた」とトレドさん。2017年には、ヴァイヘルモサ・ロータークラブに入会し、両方のクラブに籍を置くことになりました。「ローターは国際色豊かな組織ですが、このような大規模

メキシコのタバスコ・ピセンテナリオ・ローターアクトクラブに所属するマキシミリアーノ・トレドさんは、地元ヴァイヘルモサの町で人びとの支援を始めました。

トレドさんのクラブはまず、病院の外で家族や知人を待っている人びとに食事を提供することから始め、次に患者やその家族が必要としているものを聞いて回りました。そして、小児病院への移動式レントゲン装置を設置するため、グローバル補助金申請に必要書類をまとめました。すべての準備が整った後、提唱者となるロータークラブにこのプロジェクトへの参加を呼びかけました。

「ローターが信頼される組織であることを示すため、何か大きなことをしたかった」

ローターアクトの力を活用しよう

提唱しているローターアクトクラブが素晴らしいプロジェクトを実践している場合は、『卓越したローターアクトプロジェクト賞』に推薦しましょう

ロータークラブの皆さまへ：**グローバル補助金**のプロジェクトを立案する際は、ローターアクトクラブとの協力をご検討ください。